

令和4年度第2回小浜市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和4年9月6日（金） 10:00～11:30

2 場 所 市役所4階大会議室

3 出席者 <<委員>>23名（代理出席2名）、欠席3名

川本義海会長、野村徳夫副会長、堂前存守委員、川嶋崇委員、今村治義委員、岩崎育巳委員、北林荘八委員（代理 西日本旅客鉄道(株)金沢支社 敦賀地域鉄道部 阪森様）、森健次郎委員、治部淳委員、山崎正博委員、松宮克行委員、富士健一委員、五十嵐重晃委員、田中博委員、藤田靖人委員、清水雅彦委員、御子柴北斗委員、野村和司委員、乗替保委員、堤宗和委員（代理 福井県交通まちづくり課 小竹原様）、東野克拓委員、小林博之委員、金子正憲委員

<<事務局>>

小浜市新幹線・交通まちづくり課

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

(協議事項①)

デマンド交通実証実験について

(協議事項②)

市街地循環バス実証実験について

(報告事項①)

西日本ジェイアールバス若江線のダイヤ改正について

(3) その他

(4) 閉会

5 議事

(1) 開会

【会長挨拶】

前回は6月17日に第1回会議を開催し、小浜市地域公共交通計画を承認いただきました。その後、6月27日に市長へ計画策定の報告を行いました。小浜市地域公共交通計画に基づき、小浜市の施策を実施していくこととなります。本日は、2つの実証実験について協議いただくこととなります。皆様から忌憚ないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(協議事項①)

デマンド交通実証実験について

【事務局】資料に沿って説明

【会長】

説明ありがとうございました。デマンド交通の実証実験については、小浜市公共交通計画の事業No.4「居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討」にあたると思っております。それでは委員の皆様、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【委員】

資料では、タクシーとの違いが掲載されていますが、バスとの違いを打ち出すべきではないでしょうか。また、今回の実証実験について利用者数や利便性などを検証するとなっていますが、それぞれKPIを設定するべきではないでしょうか。

【事務局】

まず、タクシーとの違いについてですが、利用が想定される高齢者向けの資料作りを心掛けました。市内のふれあいサロンを運営している関係者に話を聞いたところ、「利用方法、特にタクシーとの違いを高齢者に伝えてあげる必要がある」という意見をいただき、今回の資料のようにタクシーとの違いを記載いたしております。ただ、ご意見いただきましたように、バスとの違い・メリットを伝える必要があると思っておりますので、今後ふれあいサロン等での説明会の際に伝えるようにしたいと思います。

次に、KPIですが、現時点で具体的な数字を設定することは非常に難しいと考えています。収支率や利便性など総合的に判断する必要があると考えております。また今回利用者アンケートを実施予定ですが、利用者の声も聴きたいと思っています。

【委員】

今回の実証実験では、事前に利用登録が必要ということですが、公民館等で申込書を配付いただけるのでしょうか。

【事務局】

利用登録申込書は、デマンド交通のチラシと一緒に、9月末の区長配布にて、対象地区民の方に配布を致します。

【委員】

デマンドの予約がウェブか電話予約となっていますが、電話予約の場合は、オペレーターはどこまで対応してくれるのでしょうか？また、実証実験期間中に、試乗会・体験ツアーのようなものを企画していただければと思います。

【事務局】

まず、オペレーターの業務になります。資料の「デマンド交通の利用方法」のページをご覧ください。利用者は、電話予約時に、利用者番号や利用希望日時、乗りたい停留所、降りたい停留所を伝えていただきます。オペレーターはその内容に基づき、専用システムに入力を行い、利用者に予約内容を伝えることとなります。

次に、試乗会についてですが、今回の実証実験は、まず多くの方に利用いただいて、意見を出していただくということが必要だと考えております。地域の高齢者向けにデマンド交通を利用するお買い物ツアーなど検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

【会長】

通常のバスと異なり、今回は予約が必要ということで、中々慣れない部分が利用者にはあると思いますので、地域での説明会の際には、丁寧にお伝えいただきたいと思います。

また、今回の実証実験の対象地区の皆さんにぜひ利用いただけるよう、体験会のような働きかけをお願いしたいと思います。

【委員】

今回の実証実験の利用は、未成年の利用も考えられていますか。今回は、平日の運行になりますが、例えば学校の振り替え休日の平日に、子どもたちが利用することも考えられると思います。その視点でいうと、今回の停留所に市立図書館が入っていないのですが、資料に掲載されている停留所の主要施設に図書館を掲載するとPRになって良いのではないかと思います。

また、タクシー車両での乗り合いで、最大4人乗車となるということは、後部座席に3人の乗車になるとは思いますが、窮屈にはならないでしょうか。

【委員】

車両については、ジャパントクシーという室内が広い車両を使用予定しており、大きな問題はないかと思っています。実際に、日曜日のあいあいタクシーでは、ジャパントクシー車両を使用しており、4人の予約があれば、後部座席に3人座っていただいています。

【事務局】

今回の実証実験の利用にあたって年齢の制限はございません。ただ、未就学児については、保護者の方と一緒にご利用いただきたいと思います。小学生に関しては、学校等にも案内させていただき、利用ルールについては相談をさせていただければと思っています。

また、停留所は、今回はこちらの80か所で開催してまいりたいと考えていますが、11月に予定している市街地循環バス実証実験もごございます。まず市街地に来ていただき、そこから循環バスを利用して市内を移動していただくという手段もあるかと考えています。

【会長】

小さい頃から公共交通に慣れ親しんでいただくというのは大切なことだと思います。一方で、子どもたちの安全の面もあると思うので、ご確認いただきたいと思います。

また、今回の停留所について、安全確認はどのようになっていますか。

【事務局】

今回の停留所の位置については、事前に小浜警察署に相談・確認していただいています。

【委員】

検証項目に、収支率とありますが、デマンド交通になるとオペレーション費用が新たに発生すると思いますが、それはどのようにお考えでしょうか。

また、差し支えなければどのようなシステムを利用するのかを教えてください。

【事務局】

オペレーションについては、あいあいバス運行協会と協議する必要があります。また、専用システムを導入することでシステム利用料が発生してまいりますので、その費用も含めて収支の検証が必要だと思っています。

次に、今回の実証実験で利用するシステムは「コンビニクル」というシステムで、隣の若狭町やおおい町等で利用実績のあるシステムになります。

【委員】

今回予約センターの受付が平日のみになっている理由を教えてください。

また、停留所でバス利用者とデマンド利用者が重なった場合、どのように対応するか気になりますので教えてください。

【事務局】

今回の実証実験の運行が平日のみとなるため、予約センターも平日の受付にさせていただきます。また、停留所でバスとデマンドの利用者が重なった場合については、今後、ドライバーのトレーニングも予定していますので、運行事業者と確認をしたいと思います。

【委員】

今回初めての实証実験で、電話予約受付が大変な業務になることが予想されます。そのような中、土日は事務員数が減ることもありますので、事務員が確保できる平日で実施したいと考えています。

【会長】

先ほどオペレーション費用の話もありましたが、コストのこともありますので、まずは今回の条件で実証実験を実施し、課題を把握していくことが大切だと思います。

たくさんご意見をいただきありがとうございました。実証実験が10月から3か月間始まるということで、次につながるように、多くの方に利用していただきたいと思っています。

(協議事項②)

市街地循環バス実証実験について

【事務局】 資料に沿って説明

【会長】

説明ありがとうございました。市街地循環バスの実証実験については、小浜市公共交通計画の事業No.7「市街地循環バスの導入検討」にあたります。それでは委員の皆様、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【委員】

循環バスですが、この周る順序になった理由について教えてください。

【事務局】

周る順序については、我々もとても悩んだ点でございます。今回は、小浜西組エリアの方に乘っていただき、その後病院や商業施設に行くという想定でルートを決めました。

今回の実証実験は、1台の車両で8の字で走ることにありますが、結果を元に、車両数やルートを変えることなども検討できると考えています。

【委員】

この市街地循環バスは予約不要ということは、市外の方も利用できるのでしょうか？

【事務局】

はい、利用登録は必要ございませんので、いつでも誰でもご利用いただけるものになります。現在、土日祝日には秋のシーズンは、「レトロバス」という観光客向けのバスが走っています。今回の実

証実験は、住民目線で考えていますが、将来的には観光目線も含めて検討する必要があると考えています。

【委員】

運行時間ですが、発車時間を毎時同じ時刻にする等、今後工夫があると、利用者にとって分かりやすいのかなと思います。

【事務局】

今回は45分置きの出発スケジュールとなっていますが、今回の利用結果等をもとに、今後検討していきたいと考えています。

【会長】

運行時間を決めるにあたって、試走はされていますか？

【事務局】

はい、試走をし、運行時間を決めております。

【会長】

市街地循環バス実証実験については、アンケートも実施するというのですが、車内に置いておくだけでは回答してもらえないので、配布方法をしっかり考える必要があると思います。

【事務局】

この実証実験は、登録制ではありませんので、アンケートは車内で配布し、後日郵送で返送いただくことを想定しています。配布方法については、運行事業者と相談したいと思います。

【委員】

今回の停留所については、利用者が多い店舗が抑えられていますか。

【事務局】

今回の停留所は、昨年度実施した市民アンケートの回答を考慮しています。また、府中エリアの停留所は2か所ございますが、店舗等のご理解や利用者の安全性を考えて、設定させていただきました。

【会長】

今回の停留所になっている店舗にもアンケートをとり、意見に行くことも有効だと思います。

【委員】

利用者は1回だけの利用者もいれば、何度も利用する方も出てくると思いますが、どのように利用回数を把握する予定でしょうか。

【事務局】

この実証実験は登録制ではないので、利用回数の把握は難しい点がございますが、アンケート内容について検討したいと思います。

【委員】

アンケートですが、その人があいあいバスを利用される方か否かもデータを取れると良いのではないのでしょうか。

【事務局】

ご意見を参考にし、アンケート方法を検討したいと思います。

現在、あいあいバスの日中の利用者が少ない理由として、あいあいバスを利用して市街地に来たあとの移動手段がないことが理由のひとつではないかと考えています。そのことも検証したいと考えています。

【委員】

高齢者向けのPRとして、ケーブル放送等で具体的な利用方法を提案すると良いのではないのでしょうか。

【事務局】

周知が大切になるので、利用方法の提案や例えばマイ時刻表の作成なども検討したいと思います。

【委員】

今回の運行ルートに、川崎エリアや道の駅エリアが入っていませんが、これらのエリアが入ると、人が賑わうのではないかと思います。

また、アンケートについての提案ですが、アンケートの回答をすると店舗で利用できる割引券がもらえるなど、お得感を出す利用促進につながるのではないかと思います。

【事務局】

運行ルートですが、最初は川崎エリアや道の駅も範囲に入れて検討をし、試走も行いました。ただ、範囲を広くしすぎると、乗車時間が長くなり、利用者が目的地に着くまで何十分も待たなければならなくなってしまうことから、今回は40分で1周回れるルートにさせていただきました。

また、アンケート方法については、参考にさせていただきたいと思います。

【委員】

乗車人数はどのようなカウントする予定でしょうか。

【事務局】

ドライバーにカウントしてもらうことを想定しています。

【会長】

市街地循環バスの実証実験については、11月までまだ少し時間がありますので、アンケート方法についてよく検討していただき、委員の皆さまにお知らせしていただくと良いと思います。

(その他)

西日本ジェイアールバス若江線のダイヤ改正について

【西日本ジェイアールバス近江今津営業所より説明】

前回の第1回会議で、減便を伴うダイヤ改正を検討している旨を報告させていただきました。そして、先月8月26日に福井運輸支局および滋賀運輸支局に、10月1日からのダイヤ改正の届出をさせていただき、プレスリリースをいたしましたので、ご報告させていただきます。

現在は13往復26便を運行しており、当初は3往復6便の減便を予定しておりましたが、沿線自治体の皆さまからのご要望を受け協議を行った結果、2往復4便の減便と1往復2便の上中駅折り返しで、ダイヤ改正を行うことが決まりました。また、運行経路については、当初は仮屋便の利用者が少ないことから、瓜生便に統一することを予定しておりましたが、沿線住民の皆さまからのご要望を受け、午前と午後にそれぞれ1往復2便仮屋便を残すこととなりました。

ダイヤ改正の理由は、前回の第1回会議でご報告させていただきましたので、省かせていただきますが、小浜駅発の早朝便については、乗務員の泊まり運行をなくすためでございます。また、近江今津駅発小浜駅方面行き最終便については、自治体様から、京都での滞在時間を長くしたいというご要望を受け、18:45発を最終便とし、上中駅まで運行し、その後上中駅から近江今津駅に折り返す運行とさせていただきますことになりました。

なお、ダイヤ改正については、お客様向けにバス車内への掲示や停留所での掲出で周知を行っている段階です。

以上報告させていただきます。

【会長】

ありがとうございます。10月1日付け若江線のダイヤ改正についてご報告いただきました。委員の皆様からご意見ございましたらお願いいたします。

【委員】

若江線は、広域幹線路線として国の補助金対象になっていると思いますが、改正後の運輸局への手続きはどのようになっているか教えてください。

【西日本ジェイアールバス近江今津営業所】

補助金の関係についても、福井県および滋賀県に事前に説明にあがっております。具体的に言いますと、上中駅折り返しとなる2便については、運行は行いますが、最終地点まで運行しないこととなりますので、補助金の対象外となります。

また、運行距離が短くなることも説明させていただき、補助金の算出に関しても、改正後のダイヤの内容で手続きを進めております。

【委員】

上中駅折り返しになる便について、JR小浜線との接続はどうなっているのでしょうか。

【西日本ジェイアールバス近江今津営業所】

上中駅19:25着については、19:34発のJR小浜線に接続し、小浜駅まで移動していただくことができます。

【会長】

ありがとうございました。他にご意見等ございますか。
ないようですので、事務局にお返しいたします。

(その他)

西日本旅客鉄道(株) 金沢支社敦賀地域鉄道部から、9月17日(土)のおばませんサポーター向けのお仕事体験イベントについて紹介いただく。

(4) 閉会

【事務局】

会長、会議の議事進行ありがとうございました。

また、委員の皆様には、慎重審議をいただきありがとうございました。

それではこれで、令和4年度第2回小浜市地域公共交通会議を終わります。ありがとうございました。

以上